

令和3年9月21日

那須烏山市議会議長 渋井由放様

文教福祉常任委員会委員長 矢板清枝

決算審査結果報告書

本委員会に令和3年9月13日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日 令和3年9月14日（火）及び15日（水）

2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 議場

3 出席委員 矢板清枝、興野一美、小堀道和、渋井由放、中山五男

4 説明のための出席者

市民課長 大谷啓夫、福祉事務所長兼健康福祉課長 皆川康代、こども課長
川俣謙一、学校教育課長 大鐘智夫、生涯学習課長 水上和明、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の
令和2年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案
のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意
見を付することとします。

市民課

- ・来庁者への挨拶を積極的に行われ好感が持てるが、今後も更に親しみやすい市役所
の雰囲気づくりを心掛けられたい。
- ・マイナンバーカードについて、関係課と連携しながら、機会を捉えて必要性や利便
性の周知を図り、交付率向上に努められたい。
- ・熊田診療所について、地域住民の意向も踏まえながら、今後の運営の方向性を検討

するとともに、へき地診療所の役割を果たし、地域医療を担う医療機関として存続を図られたい。

健康福祉課

- ・避難行動要支援者名簿を作成し、関係者に配付した。平時からの見守り活動により、名簿登録者の生活や身体状況等の変化を把握し、随時名簿の記載事項を更新することで、災害時の避難支援をより実効性のあるものとされたい。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について、正解の分からない中で手探りの対応を迫られ、年度末に65歳以上の市民に対し、通知をいち早く発送した。結果的には混乱が生じてしまったが、今後はこれまでのノウハウを生かし、ワクチン接種にかかる国の動向を注視しながら、迅速かつ効果的に接種を推進し、接種率向上に努められたい。
- ・健康マイレージ事業は、若い世代に積極的に周知を図ったことにより、コロナ禍にもかかわらず参加者が増えた。事業への参加をきっかけとして、健康づくりに自ら取り組むことで、生活習慣病等の予防や介護予防につながるため、今後も更に事業を推進されたい。

こども課

- ・にこにこ保育園をつくし幼稚園に統合・再編した認定こども園は、公設を予定しているが、出生数の推移や市内保育施設の整備状況、建設にかかる費用負担等を総合的に考慮し、民設化も含めて再度検討されたい。
- ・市立保育園、幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策及び感染者が確認された際の対応マニュアルは、最新の情報や知見に基づき隨時見直しを図られたい。

学校教育課

- ・英語コミュニケーション推進事業として、外国語指導助手（ALT）を小中学校に配置している。ALTの選任に当たっては、派遣業者任せにせず、望ましい人材の派遣を要望されたい。
- ・児童生徒一人一台の端末（まなびPC）及び高速大容量の通信ネットワーク整備事業を完了した。今後はまなびPCの安全・安心な使い方を検証し、効果的に活用されたい。
- ・地元生産者や農産物直売所等と連携し、学校給食における地産地消を推進されたい。

生涯学習課

- ・図書館に電子書籍を導入し、図書館機能の充実を図られたい。また、烏山図書館については、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の方向性を検討されたい。
- ・公共下水道処理区域内の公民館、運動施設において、下水道に接続していない施設がある。関係法令等に基づき、遅滞なく適正に対応されたい。
- ・歴史的価値の高い烏山城跡は、国史跡指定を目指し、地権者の協力を得ながら土地の公有化を図り、保存及び文化的活用に努められたい。